

総合的な学習の時間の目標は、どのような内容・構成になっているか。

現行学習指導要領では、総合的な学習の時間の目標は示されていなかったが、今回の改訂で次のように目標が示された。

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。

目標を定めたのは、各学校において創意工夫を生かした特色ある教育活動を引き続き行うとともに、この時間を通して実現することが求められる目標を明確にするためである。従前のねらいに比べると「探究的な学習」「協同的」の文言が加わった。

総合的な学習の時間の目標は、

- (1) 総合的・横断的な学習や探究的な学習を通すこと
- (2) 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成すること
- (3) 学び方やものの考え方を身に付けること
- (4) 問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てること
- (5) 自己の在り方生き方を考えることができるようにすること

(1)は、総合的な学習の時間に特有な学習の在り方を示している。これを前提にして(2)(3)(4)に示された資質や能力及び態度を育成していくことを求めている。総合的な学習の時間では、これらの資質や能力及び態度を育成しつつ、(5)に示された自己の在り方生き方を考えることができるようにすることを目指している。